

消防署からのお知らせ

住宅用火災警報器「取り付け支援サービス」のご案内

住宅用火災警報器は法律で設置が義務付けられています。須賀川地方広域消防組合では今年度から、「住宅用火災警報器は購入し持っているが、取り付けるのが難しく、取り付けしていない。」そのような方々のために消防職員が取り付けを行うサービスを開始しました！

○取り付けサービスの対象となる世帯

須賀川市、天栄村、鏡石町、石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町に居住する世帯のうち、65歳以上の者のみで構成する世帯、もしくは身体に障害がある等により、住宅用火災警報器の取り付けが困難である世帯

○申し込み方法

住宅用火災警報器販売店に設置された、または須賀川地方広域消防組合のホームページ (<http://www.sukagawa119.jp>) よりダウンロードした申込書に必要事項を記入し、最寄りの消防署へ直接お持ちいただくか、郵送にてお申し込みください。なお、自宅で印刷できない方は、最寄りの消防署へ来署していただき、その場で申込書に記載していただくことも可能です。

★注意点

- ・取り付けることができる住宅用火災警報器は、自らが購入した、電池式のものに限りします。(コンセントに接続するものは取り付けできません。)
- ・取り付けの際には必ず立会いをお願いします。(代理人でも可)
- ・取り付け費用はかかりません。

救命講習会開催日

開催日・時間	開催内容	開催場所
令和元年 10 月 24 日(木) 9:00 ~	普通救命講習Ⅰ・Ⅱ	就業改善センター(玉川村)
11 月 10 日(日) 9:00 ~	普通救命講習Ⅰ・Ⅱ	石川消防署(石川町)
11 月 21 日(木) 9:00 ~	普通救命講習Ⅰ・Ⅱ	石川消防署(石川町)

○申込方法…受講日の5日前までに、電話またはFAXでお申込みください。

- ・石川消防署平田分署 (☎ 55-2213 FAX 0248-94-2079)

なお、受講希望者が5人に満たない場合は、講習会の開催を中止とさせていただきます。

講習会の詳細は平田分署へお問い合わせいただくか須賀川地方広域消防組合ホームページをご覧ください。(<http://www.sukagawa119.jp>)

公立小野町地方総合病院からのお知らせ



多職種カンファレンスの様子

当院では、平成 28 年度から、福島県立医科大学医学部 3 年生の地域実習である「地域医療体験研修」を受け入れています。本研修は、医学生が地域医療の現場で実際に「見る」「聞く」「感じる」などの体験をすることで、福島県における将来の地域医療の担い手としての医師育成につなげることを目的としたものです。

今年度も 2 泊 3 日の日程で 7 月 31 日と 8 月 26 日から 2 コース開催し、1 回目が 9 人、2 回目が 15 人と、昨年よりも 4 人ほど多い参加人数でした。主な研修内容は、院内では施設見学や、病院長、医療関係多職種との意見交換の実施、外

来診療の見学、病棟での多職種カンファレンスへの参加などを行い、院外では、特養「こまち荘」の施設見学、川内村国保診療所の医師及び遠藤雄幸村長からの講話、また平田村では、地域住民との交流会の開催や血圧測定などを行いました。参加した学生からは、「地域の方と接し、地域医療の抱える諸課題について学ぶ貴重な体験となった」との感想が聞かれました。次世代の地域医療を担う医師が一人でも多く誕生することを期待しております。

～夜間救急外来診療のお知らせ～

平日の夜間救急外来診療を行っています。受診の前に電話(☎ 72-3181)にて症状をお伝えください。
受付時間：平日午後 5 時～午後 8 時 30 分まで

こんげつの健康

Health



Ns. ジュッピー

「第2次健康ひらた21計画」 中間評価報告 がん分野

◇中間評価の結果

・村のがん検診受診率、精密検査受診率ともに、基準年（平成25年度）以降増加傾向にあります。ただし、もっと身近な病気であることを理解していただき、更に受診率向上を目指します。

決して特別ではありません！2人に1人のこと。

がんは、日本人の死亡原因の第1位で、3人に1人ががんで亡くなっていることになります。また、2人に1人が一生の間にがんにかかるともいわれています。「がん」は、決して特別ではなく、とても身近な問題です。定期的な「がん検診」と毎日の生活習慣の中での「がん予防」が、皆さんを「がん」から守ります。

◇がん検診・精密検査をうけましょう。

各がん検診は、村検診や職場検診で必ず受けましょう。また、精密検査が必要と言われたら必ず専門の医療機関を受診しましょう。精密検査まで受けてがん検診が完了します。

病院検診 現在実施中!!

・胃がん検診（内視鏡検査）…50歳以上
・乳がん検診…40歳以上の女性
※対象となる方は受診できますので健康福祉課までご連絡ください。

◇生活習慣でがんを予防しましょう

国立がん研究センターの日本人を対象とした研究の結果から、以下の「5つの生活習慣」に気をつけることで、将来「がん」にかかるリスクが約半減するといわれています。

1 禁煙する

2 節度のある飲酒をする

飲酒量の目安は、日本酒1合、

ビール大瓶（633ml）1本まで

3 食生活を見直す

減塩する（一日当たり塩分の目安…男性8g女性7g未満）
野菜、果物を多く食べる（野菜は一日350gを目標に）
熱い飲み物は少し冷まして飲む

4 身体を動かす

運動習慣をもつ（30分以上の運動を週に2日等）

5 適正体重を維持する

やせすぎ、太りすぎも要注意



がん検診
めざせ受診率50%超

出典：国立がん研究センター「科学的根拠に基づくがん予防」より

ひらた中央病院からの 健康アドバイス



院長
西山 宗一郎 医師

急性腹症シリーズ

その2

胆管炎(症状と原因)

前回の胆のう炎に続きまして今回は胆管炎の症状と原因を中心にお話します。

胆管は肝臓で作られた胆汁を十二指腸へ流す管です。（胆のうはこの途中にあるいわば貯水池のようなものです。）胆管の長さは10～15cm、太さ（幅）は0.5～1.0cmくらいです。

胆管炎の症状は腹痛・発熱・黄疸が代表的なものです。胆のう炎と違うのは黄疸を伴うことがあり、重症ではショック（血圧低下）や意識障害をきたします。胆管での胆汁の停滞が主な原因ですから、胆のう炎とは違い肝機能の上昇を認めます。主な原因は結石ですが腫瘍や過去の胆道鏡検査なども原因となります。胆のう結石がある方は胆のう炎だけでなく胆管炎にもなりやすいのです。胆のう結石で手術をされた方も安心はできません。この時の結石が胆管内に落下して悪さをしていることもあります。過去に胆のう摘出手術を行った方で時々肝機能障害を伴うような発熱がある場合は疑ってみる必要があります。